

望月蜜桃

Momomo Macchiavelli Presents

兄さま、私を汚して



祖父の持つ山にいる
お稲荷さまの掃除と
お参りだった

あった

「毎朝わしが
行ってたんだが
……」

「私もじいさんの
世話ふえて
手が回らなくてね」

ホントは
すくくイヤ

なんて
いったけど

「わかった
そっちは任せて」

子どものころ
ここに山菜
とりにきて

おじいちゃんと
はぐれて
迷子になって

助けてもらいませ
すくく怖かった

あれ以来ひびきで山に
入らないようにしてたの



ももも
帰るっ!!

「めんなさい
お掃除の
掃除途中
たけだ
帰ります!!」

カサカサ

セクッ!!



いつものじいさん
どうした

おいつ



あはははは
はははは

でた

つつ



お稲荷さま

アッ

!!

まあまわがって
ないけど

俺稲荷って
いいます

えっ
あっ

青葉
なつみです



笑わない
だよ!!

掃除
サボろうと
したから

お稲荷さまが
化けてたと
思ったんだもん



ああ

青葉の
じいさんどこの

おじいちゃん
しってるの？

うん

俺んとこ
隣の山だもん

そうなんだ

つかハデに
すりむいたな



はずかしい

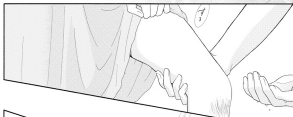


濡れるから
スカートもつと
上げて

えっ
早く
ううん



とにかく傷口の
泥落とせう



痛い？

いた
ぞ

ホッ
ホッ





あと少し

ここまでいくの!?

ちよっと
稲成くんっ



ほら
あそこ

えっ

...



これって
巨峰?
巨峰?

うん

どうも
どうも
どうも

わあ……



これ俺んちの
前はもっと栽培
してたけど

今はやめて
これはその残り

ん

ふーん



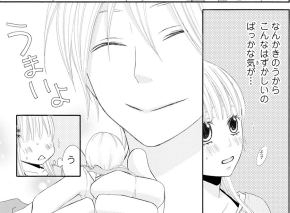
このまま
食っていいよ

えっ

手汚れるから

おいし
そうっ

わあ



なんかきのうから
こんなはずかしいの
ばっかな気が...

うまー



う



この時期がいちばん
うまいんだ

なんかいちいち
てれる…



巨峰

ごちそうさま

なあ あしたも
会える？

え？

どんどん
わくから

あつ

自分で？
自分でやるから



それから毎日
会うようになった



怖くて嫌いだった山も
彼がいると思えば

楽しみに
なった



満天の
星空？

そういえば
みたことないかも

ここきたら
おじいちゃんたちと
お喋りで終わってるし

へえ
じいさん
孝行じゃん

なら今夜
みにいこうよ

なつみに
みせたい
この星

きつと
感動するよ

「10時に
お稲荷さんの
どこで」

まだ
8時前がああ…

なっちゃん
どうかした？



さっきから
時計ばかり
気にして

えっ

なんでもないよ
このきんぴら
おいしいね♡

そうかい？

そうそう

じいさんの腰もう
大丈夫だって

ほんと!?



きょうお医者さんに
ふつうの生活にもどして
いいっていわれてね

そうなんだ

よかったね
おじいちゃん!

ありがとう
なつみ

せつかくの夏休み
満して悪かった
な

ううん



だって藤成くん
会えたし

よかった

でも

なっちゃん帰ると
寂しくなるね

え？

だって

夏休みも
終わるし

そろそろ
帰らないと

あ……

そりだ

なんて言われて
たんたろ

夏休みが
終われば
お別れってこと

なつみ

気分でも
悪い？

え

ううん
ぜんぜんへいき

そう？

夏休み終わっても
稲成くん会いたい

あのね

あそだ

俺あさって
帰るんだ

やっぱり
私……

え……

帰るって……

ああ俺
大学は県外
なんだ

だから夏休み
終わる前にも
どらなにと

だから

最後に絶対
星みせたくて



最後...

早くらー



え？

あれ？

か。

なんで

...

さ。

ああ私
思ってたより

稲成くんを好きに
なってたんだ……

なんか
あっさりしてる
……

ガッカリしてたの
私だけか……

なんだ……

